



International
Labour
Organization



Japan
Co-operative
Alliance



ILO-JCA共催ウェビナー 社会的連帯経済(SSE) でつながる。

本ウェビナーでは、SSEをめぐる国内外の動向、日本における実践報告を通じてSSEについて学び、理解を深め合います。初めての方もお気軽にご参加ください。

共催者挨拶 高崎真一 国際労働機関(ILO)駐日代表

ビデオメッセージ シメル・エシム ILO本部企業局協同組合ユニット長

15:05 講演 I

▶「世界における社会的連帯経済(SSE)の潮流とILOの取組」

ユルゲン・シュベットマン

(元ILOコープユニット長&パートナーシップ・現地支援局長、現コンサルタント)

15:25 講演 II

▶「日本における社会的連帯経済(SSE)の現在と未来を考える」

伊丹謙太郎

(法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授)

15:55 パネルディスカッション

「地域における私たちの取り組みからSSEを考える」

16:40 質疑応答

閉会挨拶 比嘉 政浩 日本協同組合連携機構(JCA) 代表理事専務

2021年 **12月16日**(木)

15:00-17:15 (JST) ※事前申込制

申込みフォーム



- ▶ 開催方法：オンライン（Zoomウェビナー）
- ▶ 言語：日英同時通訳 ▶ 参加費：無料
- ▶ 共催：ILO駐日事務所、日本協同組合連携機構(JCA)
- ▶ 後援：厚生労働省、日本ILO協議会
- ▶ 対象：SSEやILOの活動に関心のある協同組合をはじめとしたSSE関係者、研究者、学生、一般
- ▶ 申込：[申込みフォーム](#)に氏名、ご所属、メールアドレスをご記入の上、**12月14日(火)**までにお申し込みください。（※期限までにお申し込みいただいた方にZoomウェビナーの接続情報と資料をお送りします。）
- ▶ お問い合わせ：国際労働機関（ILO）駐日事務所（tokyo@ilo.org）

社会的連帯経済(SSE = Social & Solidarity Economy)

2022年6月にスイス、ジュネーブにて行われる予定の第110回ILO総会では、「人間中心の仕事の未来とCOVID-19からの回復のための社会的連帯経済(SSE)」をテーマとした初の一般討論を行います。

SSEは、包括的で持続可能な経済発展と復興の原動力として、国内外で注目を集めている概念です。ILOによる公式な定義はまだありませんが、社会的経済に関するILO地域会議「世界危機へのアフリカの対応」(2009年10月)では、SSEを「経済的・社会的目的を追求し、連帯を育みながら、財・サービス・知識を生産するという特徴を持つ企業や組織、特に協同組合、共済、協会、財団、社会的企業を指す概念」と定義しています。

登壇者略歴



ユルゲン・シュベットマン(Jürgen Schwettmann)

元ILO コープユニット長&パートナーシップ・現地支援局局長。
現在はコンサルタントとして2022年ILO総会でのSSEに関する一般討議資料作成を担当。



伊丹 謙太郎(いたみ・けんたろう)

法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授。
大学では協同組合プログラムを担当。賀川豊彦を中心とする日本の協同組合運動・思想史のほか、プラットフォーム協同組合主義や社会的連帯経済・協同組合連携をテーマに研究を進めている。

パネルディスカッション パネリスト

野老 真理子(ところ・まりこ) 大里綜合管理株式会社 代表取締役会長

青竹 豊(あおたけ・ゆたか) 日本協同組合連携機構(JCA) 常務理事

兼松 文子(かねまつ・ふみこ) 公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会 常務理事

常深 孝仁(つねみ・たかひと) 株式会社ボーダレス・ジャパン (バックアップスタジオ)



第12回ILO SSEアカデミーロゴ(左)とSDGs

<個人情報の取り扱いについて>

- ・登録された個人情報は、本イベントの参加登録・管理以外の目的で利用することはありません。本イベント終了後、適切に廃棄いたします。
- ・広報上の目的で、本イベント参加者の写真又は動画を撮影し利用する可能性がありますので、予めご了承ください。